

件名(題名) 「 トランスファー研修 」

実施日： 8月27日(金)

今回の園内研修は「トランスファー研修」、移乗に関することの基礎の確認を目的とした研修です。  
講師は安全管理担当で、利用者様と職員の双方が「安心・安全・安楽」に行えるようポイントを絞った内容にしました。

安全確認、声掛けの仕方、移乗前後の  
段取り、腰痛予防など、  
移乗に関することの基礎研修です。

移乗時の身体の使い方では、  
ベテラン職員であるほど意識せずに行う  
ことができていることもあり、  
「普段は意識していないよね」などの声が  
聞かれました。

福祉分野未経験の方にも伝わるよう、  
ひとつずつ説明しながら進めます。



ベッドから利用者様を起こす際には、  
身体の使い方とテコの原理を意識して支援します。

利用者様の力を使いながら、  
丁寧な支援を心掛けていきます。

一人介助の実践では、寝ている方の起こし方、片麻痺  
の方の移乗の仕方を行いました。



職員に二人介助をやってみてもらったところ、左の写真では利用者役職員から「怖い怖い…」との声がありました。

支えられている感じが足りなかったのでしょうか。

ポイントの解説後、改めて実践しました。上半身は腕を掴むことで安定させ、下肢を抱える人も膝裏をしっかり支えます。



右の写真では安全に移乗できました。



リフターを使っての支援では、身体を包むスリングシートを使います。シートにも複数の種類があることも説明します。

リフターの基本的な使い方を、理学療法士から直接学ぶことができました。

細かいコツがたくさんあり、シートの位置や身体の動かし方など、技術と配慮が必要な移乗方法でした。

様々な移乗方法を学ぶことで、利用者様に合った移乗方法の選択の難しさも話題になりました。

利用者様にはけがや事故、職員には身体に負荷がかかりやすい「トランスファー」の場面ですが、今後も利用者様も職員も「安心・安全・安楽」に行えるよう、支援に活かしていきます。

記事：横山